

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2024年5月5日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 禱		一 同
讃 美※	聖歌200「嬉しきこの日よ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌511「わが友、主イエスは」	一 同
教会学校	紙芝居「空の星より多く」	牧 師
讃 美	聖歌505「恵みある主」	一 同
聖書朗読	創世記20:1-7	
奨 励	創世記の福音(第17回)	牧 師
主 題	「救いと祝福の御計画」	
讃 美	聖歌201「罪とがを赦され」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌379「主よ、このところを」	一 同
祝 禱※		牧 師
来週の箇所	創世記 第21章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



〈今週の歩み〉

- 5 / 5 (日) 聖日礼拝(子供の日)
- / 6 (月) 振替休日
- / 7 (火)
- / 8 (水)
- / 9 (木) 10:00 祈り会
- / 10 (金) 10-12: OBSカフェ
- / 11 (土) 13-16 子供オプハウス



〈祈りの課題〉

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校に子供たちが来て救われますように

良書ハイライト

「この町も同じだ」

ジョン・ピア著、田村恵子訳「人につまずくとき」(横浜:サムソン,2002) p.104

開拓時代に人々が西へ移動している時のことです。一人の賢人が西部のある新しい町の頂上に立っていました。東部から来た人達はその町に入るとき、まずその賢人に会うのでした。人々はその賢人に、この町の人たちはどんな人かと熱心に聞くのでした。その賢人は質問に答える代わりに逆にこのような質問をしました。「あなたが以前住んでいた町の人たちはどんな人でしたか?」と。

ある人はこう答えました。「私達の住んでいた町は、とても悪い町だった。町の人々は無礼でいつも陰口をたたき、罪もない人々たちを利用して。泥棒と嘘つきに満ちた町だったのさ。」そこでその賢人はこう答えました「この町もあなたがいたその町と全く同じだ。」人々は自分たちが、またも同じ問題に引き込まれなくて良かったと言って、その賢人に感謝しながらさらに西へと進んでいきました。

それからまた別のグループがやってきました。そして前の人たちと同じ事を聞きました、「この町はどんな町ですか?」賢人はまたも尋ねました「あなたがいた町は、どんな町でしたか?」この人達は、こう答えました「やあ、そこはとても素晴らしい町でした!素晴らしい友達もいたし、皆が他人のために何かをしていました。皆でお互いを助け合っていたので何も不自由しませんでした。もし誰かが、何か大きな仕事を抱えていたら、町全体で助け合ったものです。だから私達にとっては、その町を離れる決心をすることはとても難しいことでした。でも子孫のためには、どうしても開拓者として西部に行き、道を切り開かなければならないという結論に至ったのです。」その年老いた賢人は、前のグループに言ったのと全く同じ言葉を彼らにも言いました、「この町は、あなた方が住んでいた町と全く同じだ。」その人たちはそれを聞いて喜び、「よし、それではここに移り住もう!」と言ったのでした。